

初期教材用 教案 (長音編)

【 センシティ土曜にほんご学級 】

【 教案・カードの枚数・授業時間(15分～30分程度)は各教室の状況に合わせて実施してください。】

学習目標：長音が正しく、発話・表記できる。		
教材 (カード)	活 動 内 容	留 意 点
おとうさん おかあさん おじいさん おばあさん おにいさん おねえさん おとうと いもうと ふくろう チーズ ビール スプーン カレンダー ラーメン	T：「これはなに？」 カードです。この人は誰ですか？ S：おとうさん T：はい、そうです。 おとうさん。どうぞ。 S：おとうさん T：この人は誰ですか？ S：おじいさん。 T：はい、そうです。おとうさんのおとう さんです。 おじいさん、どうぞ。 (順次聞いていく。) T：字を書きます。 △△さん、どうぞ。紙に書きます。 T：△△さん、読んでください。 S：□□□ T：いいですか。 S S：はい、いいです。 T：字のカードを貼ります。 みなさんは、絵のカードを貼ります。 (全部貼り終えたところで) T：これでいいですか。 S S：はい、いいです。 T：みんなで読みます。	「これはなに？」板書し、発話する。 カードの束を示し、「カード」の語を 導入。 ホワイトボードに1枚ずつ絵カードを 貼る。 学習者に発話を促す。丁寧に発音の指 導をする。 (拍や○○を使って指導) 絵カードの隣に字カードを貼る。キュー で一斉に発話させる。 書く前に、字カードをはずす。 ワークシートに書かせる。 生徒、前にでて、書く。 発音と表記を確認する。正確な発音ができる ように練習させる。全員にも発話させる。表 記に間違いがあった場合は訂正する。 (正しいカードを貼る。) 字カードをすべて貼る。 学習者に絵カードを貼らせる。 アトランダムに絵を指してコーラス・個人 で発話させる。
〈カードを使ったゲーム〉 ①絵カードだけを場に置く。先生、または生徒の一人が字カードを読み上げ、場のカードを取る。 ②字カードだけを場に置く。先生が黙って絵カードを生徒に示す。生徒は場の字カードを正しく発話 してから取る。 ③神経衰弱ゲーム 絵カード、字カードともに裏にして場に置く。字カードをめくって2枚を合わ せる。		